

全国唯一のフグ専門店 南風泊市場とは?

全国からフグが集まる「南風泊市場」。南風が強く吹くと、この場所に船が漂着する(泊まる)ことから名前が付けました。全国で唯一のフグ専門店として、各地で水揚げされた天然フグの約8割が南風泊市場に集まり、舟を取り除く「みがき」処理の後、全国へと出荷されています。元々は今の産市場で1950年に開業を開始しましたが、1974年にはフグ専門店として現在の場所へ移設、2025年には高度衛生化対応の新しい南風泊市場が完成予定となっています。

トラフグが食卓へ届くまで

天然も養殖も、各地からフグが集まる下関

天然フグ 伝統的な伝統漁業で継続しているが、1990年代から水揚げ量が減少。禁漁期間(4~8月)を設け、漁業を復活させるなど努力を続けている。

養殖フグ 1960年代にフグ養殖の取組が始まり、1980年代から水揚げ量が増加。1990年には水揚げ量が天然を上回る。

↓
各地から南風泊市場へ!

南風泊市場だけで行われる、独自の「袋せり」を学ぼう!

南風泊市場では、毎朝3時から独自の「袋せり」が行われます。通常の袋せりは手で袋を握りますが、袋せりでは黒い網状の袋の中で両手が滑り止まるまで袋を握ります。この独自の袋せり方法は、網目や縫製で魚の動きを抑制する事で、魚の傷を減らし、鮮度を保つことができます。

① 網を1本握って ② 網を2本握って ③ 網を3本握って ④ 網を4本握って ⑤ 網を5本握って ⑥ 網を6本握って

例えば... 相場 10,000円を8,000円で売り落とした場合
① 1本を握る = 10,000円
② 2本を握る = 8,000円
③ 3本を握る = 6,000円
④ 4本を握る = 4,000円
⑤ 5本を握る = 2,000円
⑥ 6本を握る = 0円

トラフグ北上中!

地球温暖化によって、日本の近海でも海水温が上昇し、フグの生息域はどんどん北上しています。200Mミーティングを通じて、福島県相馬市のトラフグに関する皆さんと一緒に、フグの今と未来について考えました。

生息域の変化で起きた「漁獲量の変化」
近年、山口県では天然トラフグの漁獲量が減少していますが、その一方で福島県や青森県では増えてきています。中でも、「黒潮」と「東潮」がぶつかる「瀬戸」に当たる福島県の海では、これまでほとんどなかったトラフグの漁獲量がここ数年で急激に増えており、トラフグの生息域が北上してきていることがわかります。

その原因として考えられているのは、気候変動による海水温の上昇や潮流の変化です。本来、東北沖は冷たい水が流れ、フグが好む環境を求めて、北上して生息域を移動していると考えられています。しかし、福島県のトラフグがここへ来たのは明確にはわかっていません。これからのトラフグがどこへ行くのか、福島県の海で今後トラフグが獲れ続けるのかといった予測も難しく、今後も調査を続けていく必要があります。

フグの今と未来

「フグの今と未来」
下関のフグのブランド力を支える「自利き力」
これまで下関で培ってきたフグ産業における知識と技術、いわゆる「フグを見分ける、自利き力」は必要不可欠です。市場ではチェックの強化など、品種を流通させない工夫がなされ、特別システムの出現です。種類の場合、鼻のある部位がどこが分らないで、取捨量が減ること、現場での人材や知識の不足も考えられ、食中毒の危険性が高まります。もう一つは、海水温上昇による「養殖」の普及や研究も進んでいます。

また、下関の調理師の他地域への派遣も検討されています。これらも下関のフグブランドが未来を支え続けるために必要です。

フクワク調査隊からの提言

「フクワク調査隊からの提言」
フグの調査隊からの提言。フグの調査隊からの提言。フグの調査隊からの提言。

読売新聞

「読売新聞」
読売新聞の紹介。読売新聞の紹介。読売新聞の紹介。

なぜ? 南風泊市場にフグが集まる3つの理由

- 1. フグの産地としての歴史。1950年から1960年代にかけて、天然フグの水揚げ量が減少したため、養殖が盛んになりました。
- 2. 天然と養殖の両方がある。天然フグの水揚げ量が減少したため、養殖が盛んになりました。
- 3. 独自の「袋せり」技術。天然と養殖の両方がある。天然フグの水揚げ量が減少したため、養殖が盛んになりました。

「競り」とは?

「競り」とは?
競りの説明。競りの説明。競りの説明。

福島県相馬市の取組み

福島で進む、トラフグ研究のいま
福島県相馬市のトラフグ研究の現状。福島県相馬市のトラフグ研究の現状。

福島のトラフグブランド「福とら」

福島のトラフグブランド「福とら」
福島のトラフグブランド「福とら」の紹介。福島のトラフグブランド「福とら」の紹介。

冊子の作り方

冊子の作り方
冊子の作り方の説明。冊子の作り方の説明。

日本財団「海と日本プロジェクト」とは?

日本財団「海と日本プロジェクト」の紹介。日本財団「海と日本プロジェクト」の紹介。

フグの歴史と山道にフグ

フグの歴史と山道にフグ
フグの歴史と山道にフグの紹介。フグの歴史と山道にフグの紹介。

広がるフグの楽しみ方

広がるフグの楽しみ方
広がるフグの楽しみ方の紹介。広がるフグの楽しみ方の紹介。

フグの歴史と山道にフグ

フグの歴史と山道にフグ
フグの歴史と山道にフグの紹介。フグの歴史と山道にフグの紹介。

フグを安全に食べるために

フグを安全に食べるために
フグを安全に食べるための紹介。フグを安全に食べるための紹介。

フグの歴史と山道にフグ

フグの歴史と山道にフグ
フグの歴史と山道にフグの紹介。フグの歴史と山道にフグの紹介。

フグの歴史と山道にフグ

フグの歴史と山道にフグ
フグの歴史と山道にフグの紹介。フグの歴史と山道にフグの紹介。